



飛騨っ子



令和7年8月18日発行 NO5
 飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
 家庭教育推進専門職：水口 悟
 TEL: 0577-33-1111 (内線 235)
 E-mail: mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

つながることの大切さ



< 通信【飛騨っ子】 >

□ 高山市立宮中学校 テーマ：PTA 親子道徳【子どもと大人で行う討論会】

「幸せになるために必要なことは？ ～あなたの幸せは何ですか～」 学校行事(授業)参加+体験型

○期日 令和7年6月26日(木) ○場所 各教室 ○主催 PTA 教養部 ○対象 全校親子

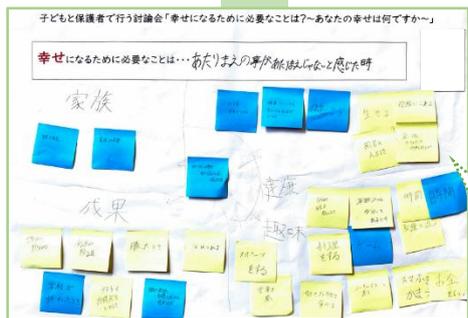


・PTA 教養部会の新たな試み!

これまでの講演会型の取組を見直し、『生徒と保護者が主体的に活動し、より自分ごととして考えたり行動に結びつけたりできる力を育みたい!』という願いから、この企画が生まれました。

・多様な価値観を生み出す工夫

全校生徒が異年齢の6グループに分かれます。また、保護者はわが子とは異なるグループに参加します。異年齢で交流することで、生徒も保護者も新たな気づきや発見、意識の変容が生まれることを期待しました。



幸せになるために、必要なことは・・・

当たり前の事が、当たり前じゃないと感じた時

どれが欠けても、幸せになれないのかも・・・

・お金 ・時間 ・健康 ・家族 ・友達



親子で「幸せ」について考えるってすごい、おもしろい! 大きなテーマに向かって、全学年の生徒と保護者の皆さんが楽しくも真剣に交流し一枚のB紙をまとめていきました。

話して、聞いて、考えて・・・、この新しい取組自体が参加者みんなの幸せをつくり出している時間であり、宮中学校の幸せを創造する取組だと感じました。

グループ交流において一人の生徒の『家族と笑い合えることや仲間と直接会って笑うことは、オンラインでゲームをしていて笑うこととは違うと思う。オンラインゲームでは、ゲームの楽しさだけで笑っているような気がする』という発言が、印象的でした。幸せについて、追求し考え抜いた言葉だと感じました。

<保護者の感想>

- ・みんなで意見を出し合ったことで、自分では気づかなかった気持ちなどを知ることができ、子どもも大人も幸せについて考えながら、毎日を大切に生活していけるのではないかなと思いました。
- ・ディスカッション形式で言葉にして、さらにまとめて発表することも、生徒だけではなく保護者などふだん関わりのない人から意見を吸い上げてまとめることも、これから必要な力だと感じました。

□ 生徒指導連携強化委員会・家庭教育推進会議 主催：飛騨教育事務所・飛騨県事務所（6/27）

テーマ：チーム飛騨で、すべての子に「居場所と絆」をつくる！～あったかい言葉かけ運動を通して～



<日程>

- 全体会 挨拶
- 説明 家庭教育の推進、生徒指導上の問題行動等について
- 分科会 3つの共通実践行動、子どもや家庭支援について
- 全体会 指導・講評

毎年、年2回、飛騨地区内の様々な立場の方々（約80名）が集まり、テーマについて交流を深めています。



この会で話題としている運動は、1つ目は「あったかい言葉かけ運動（県教育委員会主催）」、2つ目は「話そう！語ろう！わが家の約束運動（県民生活課主催）」です。

家庭における豊かなコミュニケーションまた地域における大人からの「あったかい言葉かけ」が、子どもたちの心の居場所や絆をつくることにつながります。

<あったかい言葉かけ運動 わが家のエピソード>

岐阜県の子どもの現状
令和5年「あったかい言葉かけ運動」の作品より

🌱「自分のことを好きになろう」

私は、何か上手くいかないことがあると、「自分が嫌だ、嫌い」と言っ
てしまっていました。でも、それを聞いたお母さんが、「そんなことを言
わないで、自分のことを好きになろう」と言ってくれました。その通りだ
と思ひ、それから何か嫌なことがあっても、こんな自分もいいよね、と
思えるようになりました。

それを聞いたお母さんが、「そんなことを言わないで、自分のこと好きになろう」と言ってくれました。

🌱「行ってらっしゃい。行ってきます。」

私の家では家を出るとき必ず「行ってらっしゃい」と声をかけてもらえ
ます。当たり前のことかもしれませんが、どんなに喧嘩をして仲直り
できていなくても、次の日には「行ってらっしゃい」と言って送り出してもら
えます。その言葉を聞くとそれまで重く沈んでいた気持ちが軽くなり、
「今日も一日頑張ろう」という気持ちになります。（中略）毎日感謝の
気持ちでいっぱいです。

当たり前のことかも知れませんが、どんなに喧嘩をして仲直りできていなくても、次の日には「行ってらっしゃい」と言って送り出してもらえます。

日常的な親子のコミュニケーション（ほめる・励ます・アドバイスする・一緒に取り組むなど）により、わが子の心の居場所と絆づくりの初めの一步を大切にしたい。

子どもたちに向けたあったかい言葉は、必ず私たち大人（保護者）の心の居場所と絆となって返ってきます。



<各分科会によるまとめの発表>

関わっていくことで、子どもたちや家庭を支えていくことができると感じました。

・今の状況でできていること、行動を起こせたこと、考えたことに対して、本人が自分自身を認められるようにあったかい言葉を届けていきたいと思ひます。

<参加者の感想>



- ・親さんや子どもの居場所として、今後も「話を聞くことを大切にしていきたい」と強く感じました。そうすることが、安心できる場所となり心を元気にしていくことにつながると再認識しました。
- ・様々な立場の方々からご意見を聞くことができました。学校だけではできないことがたくさんありますが、様々な機関がチームとなり

R7 飛騨地区「あったかい言葉かけ運動」作品募集



<click & tap>

□ 下呂市家庭教育支援チーム 赤ちゃんカフェ・子育てカフェ

○期日 令和7年6月30日(月) 10:00~11:30 ○場所 星雲会館 ○対象 0~3歳のお子さんと保護者



< 親子遊び >



< おしゃべりサロン >



< 活動の反省会 >

○ 下呂市家庭教育支援チームの紹介

*キャッチフレーズ 「あなたの笑顔は子どもの元気」

下呂市では、下呂市家庭教育推進事業として、下呂市家庭教育支援チームに業務を委託しています。



- ・活動開始年度：平成 22 年度
- ・令和元年度：文部科学大臣表彰受賞
- ・組織体制：子育て経験者等 7 名
- ・主な活動：下呂市内の 5 会場にて開催 (26 回/R7 年)
- ・対象：赤ちゃんカフェ*0 歳児と保護者 (妊婦さんも大歓迎)
子育てカフェ*0~3 歳児と保護者 (お父さん・おじいちゃん・おばあちゃんも大歓迎)

下呂市では、チームとして活動を開始する以前から乳幼児学級が盛んに行われていました。当時の「子育て支援はまちづくり」という言葉がとても印象的でした。少子化等の大きな流れの中でも、支援チームを発足させ、形を変えながら市内の子育て・家庭教育支援を持続可能にしているところが素晴らしいです。

・チームワークのよさ(分担)

この日の参加者は5組。今日の親子の活動(約90分間)を支えるのはチームメンバー、スタッフ、ファミリーサポーター、講師です。それぞれの立場の方々の役割分担と連携が見事です。保護者も子どもも安心し、伸び伸びと時間を過ごすことができます。

・分かりやすいタイムスケジュール

十分に親子運動や歌遊び(30分間)で身体をほぐした後は、保護者同士のお喋りサロン(40分間)です。チームの方々(各1名)も一緒に参加し交流を進めます。「持ち帰らないここだけの話!」という約束に、話は大盛り上がり。この日は、お菓子スタッフの方より、手づくりケーキセット(参加費100円)が届けられました。



・自慢できることは

チームの方に、「この活動を持続可能にしているポイントは何ですか?」と伺うと、「この活動に対する皆さんの意識の高さ」だと話されました。自分自身が子育て中に支えていただいた経験の恩返しをしたいという気持ちでしっかりつながり、集っていると話されました。



エピソード

一人の赤ちゃんが、託児ボランティアの方の手元からこちらに向かってハイハイ・・・。私のところまで来て、脚に手をかけ膝に手をかけ平気で登ってきて、とうとう膝の中へ。そして、こちらを見上げてニコリ! 赤ちゃんを見て、笑顔にならない人はいません。(担当者)

<参加者の感想>

- ・スタッフさんを含めてのお話、たくさんのお話が聞けて楽しかったです。
- ・歩けるようになったわが子をみなさんにも見てもらえたことが良かったです。
- ・今回は、先輩ママさんばかりだったのでいろいろな話ができ良かったです。
- ・レクリエーション遊びがとてもおもしろかったです。

□ 下呂市立小坂小学校 県の動画教材の活用 ①学校行事参加型+②サロン型+③在宅取組型
 ○期日 令和7年7月3日(木) ○対象 全家庭 ○主催 PTAふれあい委員会

「家庭教育学級リーダー研修会で見た動画教材をもとに、保護者の交流会(サロン型)を開催したい」と考えていたと教頭先生。一園一小一中のよさを活かし、地域の保護者同士が、お互いの子育てを尊重し、お互いから学び合ったり支え合ったりする姿を大切にしていきたいと話してくださいました。



<①動画「愛着」を視聴する1年生保護者>

① PTA学級懇談会にて動画「愛着」を視聴

この日は、PTA学級懇談会の時間を子育て交流会としました。最初に少し、動画教材「愛着」の内容に関して、担任の先生より『わが子が幼かった頃、私は仕事に追われていてすべてお祖母ちゃんや保育園に任せっ放しにしていたな〜』と、話題提供されました。

次に、動画教材「愛着」を参加者全員で視聴しました。



<②交流する1年生保護者>

② 交流会

<動画教材「愛着」>

偶然一緒になったグループにも関わらず、動画教材の内容をきっかけにし、ポツポツと出始めた話もしばらくするとグループごとに盛り上がり、とても活発な交流となりました。

- ・叱ってばかり…。会話を大切に、安心感を持たせるようにしたい。
- ・上の子が生活の中心で、下の子にやりたいことをやらせてあげていない…。
- ・旦那さんは、一日一回は外へ連れて行く努力をしている。子どもの気分が乗らないときは、うまくいかないよね。

③ 在宅取組 「話そう!語ろう!わが家の約束」運動

1日1つは良かったことを褒め合う

まいあさ「おはよう」と言ってぎゅーとする

夕食のときに今日のできごとを話し合う

子どもから 家族へのメッセージ
 しまめくれ
 てありがてーだ

保護者から 子どもへのメッセージ
 あはれなこはら、おまの事をほめてあげたい。おまの事をほめてあげたい。おまの事をほめてあげたい。

子どもから 家族へのメッセージ
 みんなで
 ぎゅーとしてから
 げんき!!

保護者から 子どもへのメッセージ
 ああ、おまの事をほめてあげたい。おまの事をほめてあげたい。おまの事をほめてあげたい。

子どもから 家族へのメッセージ
 たのしーはんた
 へいおよひたあ
 1お20音をまい日

保護者から 子どもへのメッセージ
 学校でのことを教えてくれてありがとう! おまの事をほめてあげたい。おまの事をほめてあげたい。

子) みんなで ギゅーとしたから げんき!!
 親) あさから かぞくみんなで ギゅーとして おはようといって いちにちははじめることができうれしかったよ これからもつづけていこうね!!

①②③の組み合わせが、とてもよいです。お互いの思いに共感し合ったり困ったことを聞き合ったりしながら、自分の子育てについて見つめる時間になりました。自然に会話が広がり、なんでも相談できるところがすばらしい。保育園、小・中学校と同じ仲間と過ごす小坂地域の強みです。(担当者)